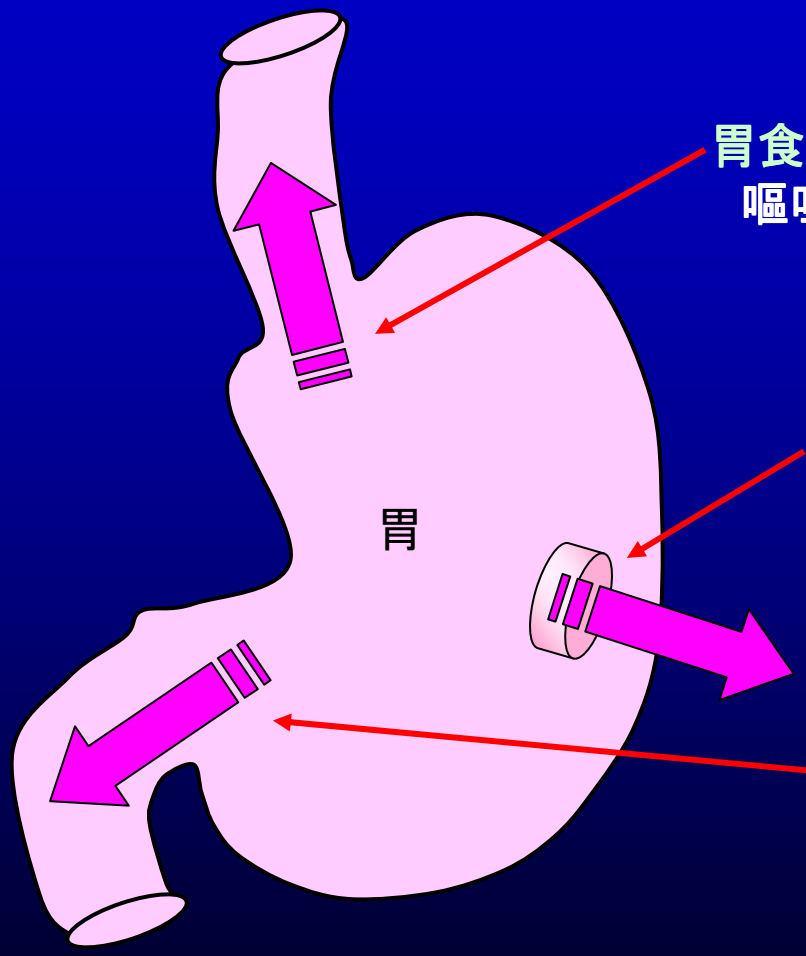
固形化経腸栄養剤の投与により胃瘻栄養の慢性期合併症を改善し得た1例

ふきあげ内科胃腸科クリニック　○蟹江治郎
介護老人保健施設　中津川ﾅｰｼﾝｸﾞﾋﾟｱ　栄養科　各務千鶴子
さわらび会　福祉村病院　老年科　赤津裕康　山本孝之
名古屋大学大学院医学研究科老年科学　葛谷雅文　井口昭久

液体経腸栄養剤の問題点



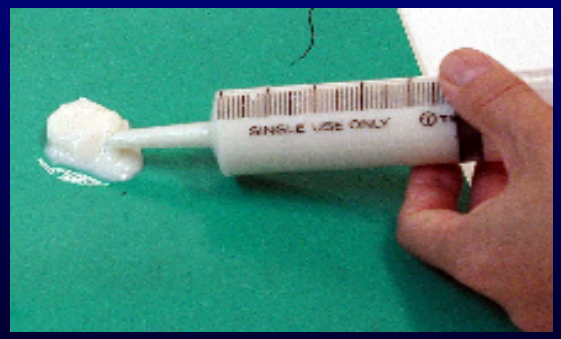
胃食道逆流
嘔吐や嚥下性肺炎の原因となる

栄養剤リーク
瘻孔からの栄養剤の漏れ現象

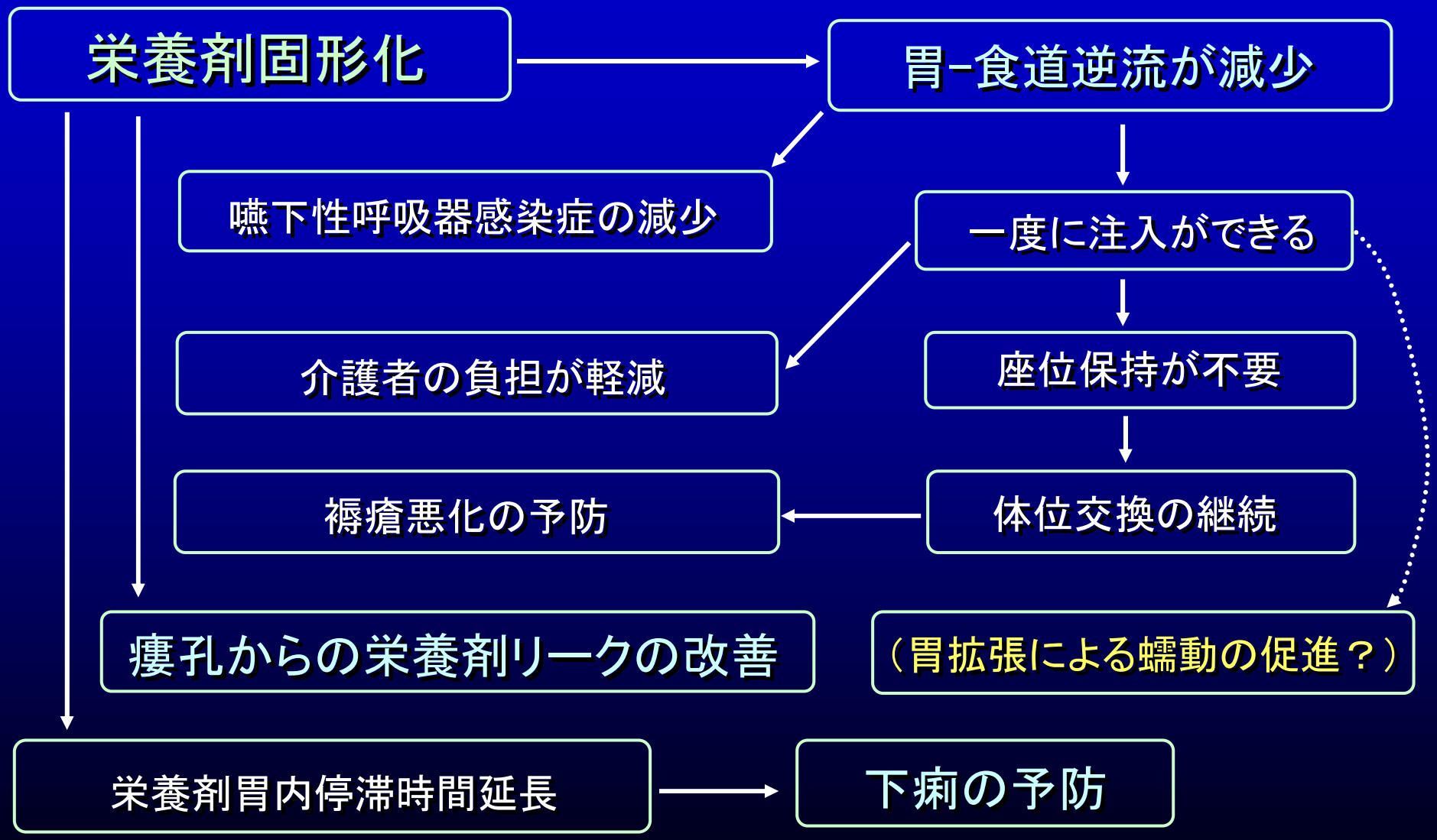
下　痢
投与速度が早いと下痢を発症

固形化経腸栄養剤の調理法と投与法

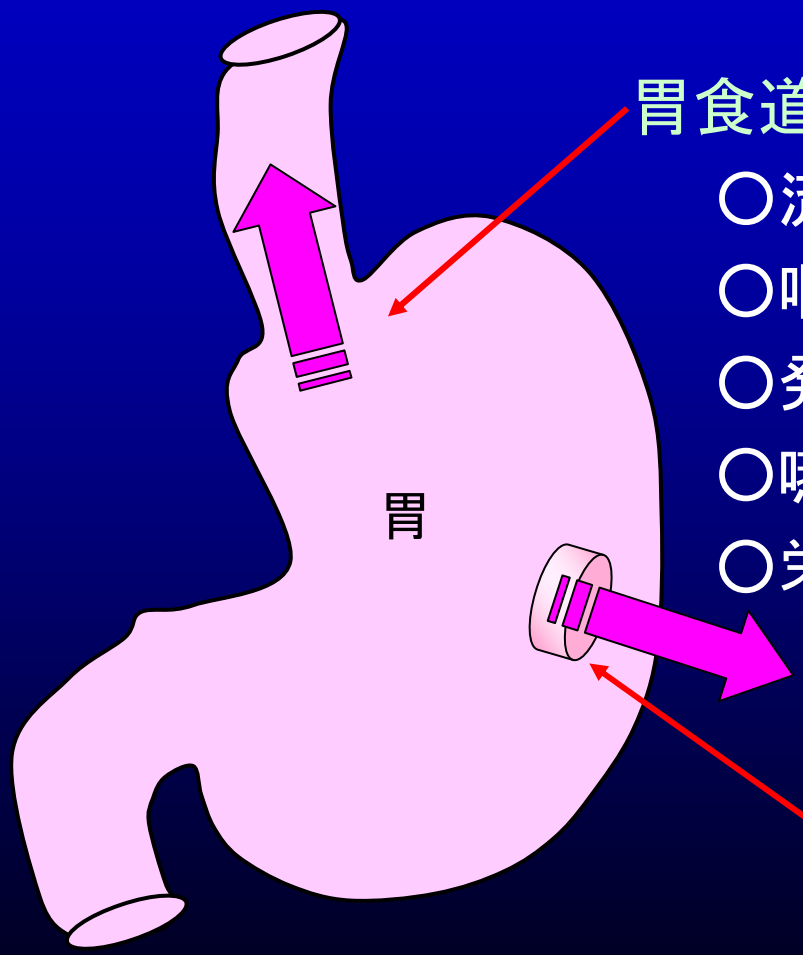
① 経腸栄養剤を症例の
必要水分量にあわせ希釈
↓
② 希釈した経腸栄養剤を加熱
↓
③ 粉末寒天を加え撹拌溶解
（1g/200ml程度が目安）
↓
④ 50mlシリンジに吸引
↓
⑤ 冷所で保存，凝固
↓
⑥投与前に室温に戻す
↓
⑦シリンジから一気に注入



【固形化経腸栄養剤の特徴】



症例:85才　女性　　基礎疾患:脳梗塞後遺症



本例で診られた症状

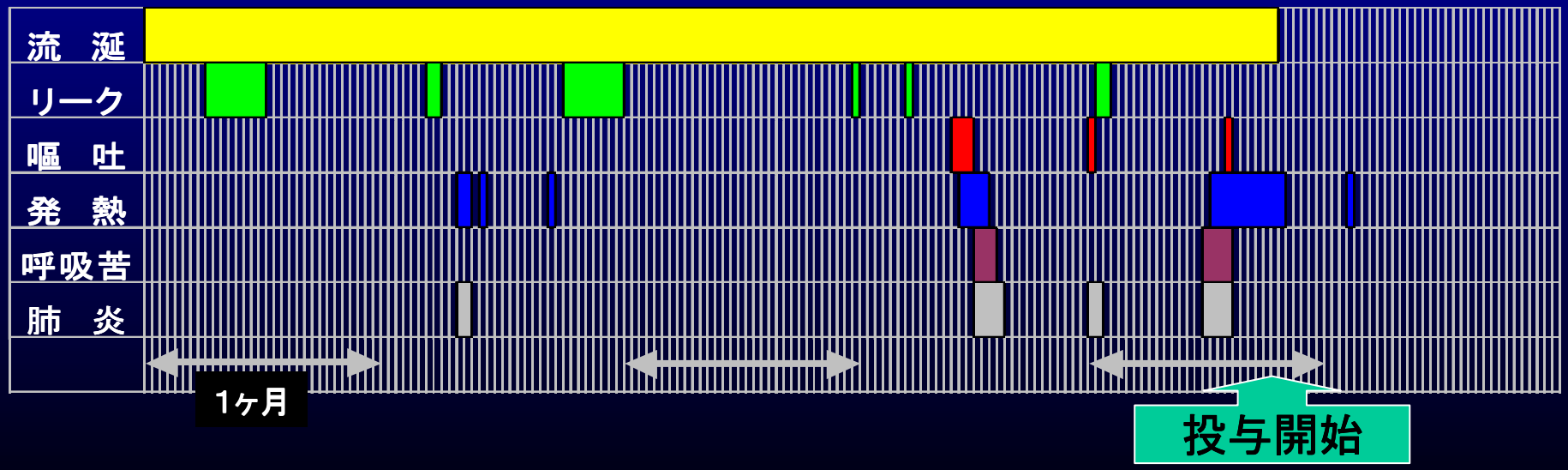
胃食道逆流に伴って発生する症状

- ○流涎:常に経腸栄養剤の涎がある
- ○嘔吐
- ○発熱:誤嚥の症状と思われる
- ○嚥下性肺炎
- ○栄養剤注入時の発汗，呼吸苦，SpO2↓

栄養剤リーク

瘻孔からの栄養剤の漏れ現象

固形化経腸栄養剤の効果



固形化経腸栄養剤の問題点①
↓
便秘をきたす

【現状】

　投与水分量の少ない経管栄養管理例（透析患者など）で報告を受ける.

【原因】

液体経腸栄養の投与により，便秘が改善している症例に関しては，固形化により便秘となるものと考えられる.

固形化経腸栄養剤の問題点②

↓

調理が必要である

調理の煩雑さ→固形栄養剤 ＞ 液体栄養剤

投与の煩雑さ→液体栄養剤 ＞ 固形栄養剤

※ 発表者の経験では“看護婦さんに感謝され栄養科に恨まれる”状態であった

※ 予め固形化を行った製品が用意されれば問題は解決

固形化経腸栄養剤の問題点③

↓

管理が煩雑である

○ 食事時にゴロゴロと何本ものカテーテルチップが並ぶ
（注入する容器を間違える可能性がある）

○ 一端冷却した栄養剤を，常温に戻す手間がある

※ カテーテルチップに名前を記入したビニールテープを貼り識別をした

※ 予め固形化を行った製品が用意されれば問題は解決

固形化経腸栄養剤 － 今後の改題 －

○ 調理の必要のない固形化栄養剤の市販

○ 専用の注入バッグの開発

↓

製薬メーカーの理解と協力が必須